

平成29年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	36	学校名	静岡県立静岡東高等学校	校長名	勝山 博子
------	----	-----	-------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

- ※1：学力向上委員会      ※2：理系高大連携推進委員会      ※3：台湾との交流実施委員会  
 ※4：国際理解教育推進委員会、※5：いじめ防止対策委員会

取組目標	成果目標	達成状況	自己評価	成果と課題
ア 授業改善と学力向上	・教員の授業参観年3回以上 100%	・全教員の平均で1学期に1.5回、2学期に1.3回の授業参観を行っている。	A	・「アクティブラーニング」を取り入れた公開授業を積極的にを行い、授業参観の機会を増やしていきたい。
	・「授業を通して学力や技能の向上が実感できた」と答える生徒の割合70%以上	・3学年で授業アンケートを実施した53科目中、47科目が70%以上を達成した。	B	・授業改善を進め、全科目70%以上を達成したい。
	・教員のセンター試験問題確認率 5教科 100%	・1月末に各教科で確認と分析を行い、職員会議で報告した。	A	・センター試験にかわる、大学入学共通テストの試行調査に関しても分析を行っていく。
	・教員の教科指導セミナー参加者人数 3人以上	・駿台予備校などが主催するセミナーに、4人(英・国・数・理)が参加した。	A	・授業改善に役立つセミナーに、今後も参加する。
	・1・2年家庭学習時間 1日平均2時間以上	・1年学習時間4,6,10月平均141.1分、2年学習時間4,6,10月平均121.5分であった。	A	・学習習慣の定着が不十分な生徒が目立っている。(1年) 学習時間が減少しており、中だるみ対策が必要。(2年)
	・1・2年11月進研模試 偏差値平均 55以上	・1年11月国数英総合56.5(国55.7、数56.8、英54.2) 2年11月国数英総合57.2(国55.0、数58.6、英56.0)であった。	A	・偏差値70以上、60以上の減少が目立つ。上位層を安定させたい。(1年) 上位層は安定。下位層の対策が必要。(2年)
	・センター試験平均点 全国平均+5%以上	・数学①、数学②、地理、物理、化学は全国+平均5%を達成できなかった。	B	・センター試験は、受験者層などの要因もあるが理系科目が苦戦した。
	・3年予備校DVD講座参加者数 40人以上	・DVD講座参加者 39名	A	・DVD講座は継続的に熱心に取り組んでいた。
	・学力向上委員会内に指導体制構築プロジェクトチーム(PT)、東陵セミナー改革PT、アクティブラーニング推進PTを設置し、学習指導体制を刷新する。	・指導体制構築PT、東陵セミナー改革PTを組織し、学力向上と高大接続改革に対応するための指導体制を検討した。アクティブラーニング推進PTの教員8名が、各学期1回以上の公開授業を行った。	A	・東陵セミナーの時間に探求的活動、発表の活動を取り入れた。また、次年度より学習支援クラウドサービスを導入し、ポートフォリオの作成や学習支援に対応できる体制を整えた。引き続き情報を収集し、校内の指導体制を整えたい。
・教員による先進校訪問 4人以上	・4人の教員が、県内2校、県外2校に先進校訪問を行った。	A	・来年度も継続し、公開授業の機会を増やしていきたい。	

取組目標	成果目標	達成状況	自己評価	成果と課題
イ 志の育成と進路目標への挑戦	・キャリア講演会・キャリア講座・大学模擬授業 生徒満足度 各80%以上	・キャリア講演会 満足度97% キャリア講座 満足度94% 大学模擬授業 満足度90%であった。	A	・講演会の講師が好評であった。講座の講師について、外部機関を通しても依頼するようにした。 ・模擬授業は、県内大学とその他の大学の棲み分けが課題である。
	・大学訪問 生徒各自の目標達成率 100%	・大学訪問 達成率97%	A	・大学訪問は、難関国公立大学に3割程度の参加があり、高い志を持つ生徒を確保することができた。継続性の観点から、公式のオープンキャンパスの利用を検討する必要あり。
	・東大訪問 参加者数40人程度 満足度80%以上	・東大訪問38名。満足度は100%	A	
	・センター試験5教科受験率 80%以上	・センター試験5教科受験率は、79.7%であった。	A	・センター5教科の受験率はほぼ例年通りであった。
	・国公立大学現役合格者数 180人以上	・国公立大学現役合格者は167人であった。	B	・前期日程では苦戦したが、中後期日程で健闘し、例年並みの人数を維持した。
	・難関国公立大学(※6)合格者数 30人以上	・難関国公立大学合格者は18人であった。	B	・京大など難関大学への積極的なチャレンジが見られた。
	・ハイレベル模試受験者数 学年各30人以上	・ハイレベル模試受験者41人(2年)	A	・ハイレベル模試は上位層の意欲向上につながった。
	・専門教養講座の単位取得生徒数 10人以上	・専門教育講座受講者 前期3人、後期3人 計6人	B	・希望者がいたが曜日の関係で受講できなかったのは残念だった
	・生徒個人面談回数 5回以上	・生徒個人面談回数 5回	A	・計画どおり実施できた
・静岡大学での実習体験参加者数 20人以上 満足度 80%以上	・静岡大学実験講座を8月に行った。5講座に合計17人の生徒が参加した。満足度は100%であった。	B	・丁寧な指導で、生徒の満足度が高い講座であり、引き続き実施したい。	

取組目標	成果目標	達成状況	自己評価	成果と課題
ウ 能力 や 特性 の 育成	・遅刻生徒数 1日平均 全校で7人以下	・遅刻生徒数は、1日平均 4.09 人であった。	A	・朝読書や朝学習への遅刻は若干いるが、 おおむね良好。
	・各部活動の目標達成率 80%	・各部活動の目標達成率の平均は 73.6%であった。	B	・目標を達成している部活動が多く、県大 会以上での活躍が見られた
	・部活動後の速やかな下 校 100%	・14の部で速やかな下校ができ ているが、20の部ではおおむ ねできている状況である。	B	・半数以上の部が、速やかな下校がおおむ ねできている状況で完全にはできていな い。
	・東陵祭生徒満足度 80%	・東陵祭生徒満足度は、約80% であった。	A	・企画別のアンケート結果を総合的に判断 した。
	・修学旅行生徒満足度 各コース 80%	・満足度は、台湾コース100%、 九州コース96.3%であった。	A	・充実した研修ができた。満足度は例年並 みで、ほとんどの生徒が満足している。 ・事後研修としてコースごとポスター発表 会を実施し、優秀発表について全体報告 会を実施した。
	・内湖高級中学との授業 交流(4月) 満足度 80%	・授業交流満足度は、85%であっ た。	A	・台湾の生徒の英語力に圧倒された生徒が 多い。モチベーション向上につながった。
	・英語研修の参加者数 30人以上 満足度80% 以上	・ブリティッシュビルズ英語研修の参加者 43人、満足度95%であった。	A	・研修後、研修成果報告会を実施した。生 徒の英語力、人格的な成長につながった。
	・実用英語検定準2級以 上取得者数 200人以 上	・実用英語検定準2級以上取得者 数は第2回までで21人合格。 有資格者は合計187人。	B	・検定受検者の絶対数確保が難しい。
	・GTEC for STUDENTS G 5以上 300人以上	・GTEC G5以上は1,2年合計で85 人であった。3年生は2年次ま でに132人がG5以上であった。	C	・現在は3年生は受検していないが、大学 入学新テストに向けて、対策の推進が必 要である。
	・文化教室 生徒満足度 70%以上	・アンケートで「良い」と答えた 生徒 94.4%	A	・演目により満足度は変わるが、今年は落 語で大変満足度は高かった。
・図書館の貸出本冊数 2,500冊以上	・図書館の貸出冊数は、4,380冊 であった。	A	・古本市などを行い、利用を促した。	

取組目標	成果目標	達成状況	自己評価	成果と課題	
エ	品性の育成と命を守る教育の推進	・「高校生活指導プログラム」の充実	・4月に読み合わせを行い、実践を図った。	A	・引き続き現状に合わない部分を見直し、充実させる。
		・情報モラル講座の実施 各学級1回	・4月のLHRにて各クラスで講座を行った。	A	・「楽しいコミュニケーションを考えよう」をテーマとしリーフレットを使って実施した。
		・スクールネットパトロール報告件数 昨年比減	・昨年度月平均4～5件であったのが今年度は3件程度に減少した。	A	・全校集会で指導し、報告を受けた該当生徒に対しても個別指導を行った。
		・重大な生徒交通事故件数 0件	・重大なものは0件であった。	A	・年間通して自損事故を含めると20件以上の生徒の交通事故があった。
		・保健便りによる健康指導回数 15回以上	・保健便りを年間17回発行した。	A	・ホームページ掲載および生徒保健委員会との連携を継続する。
		・グループエンカウンター実施 各学級1回	・4月に全学年全HRでグループエンカウンターを実施した。	A	・エンカウンター実施後親和感が平均1.09ポイント上昇し、効果を確認できた。
		・Q-Uテストの実施とその活用 全学年	・Q-Uテストを1,2年生は年2回、3年生は年1回実施した。	A	・研修会や検討会を開き、Q-Uを効果的に活用した。
		・教育相談だより発行回数 8回以上	・教育相談だよりを年間6回発行した。	B	・教育相談だよりを職員研修に活用し、効果を上げた。
		・地域防災訓練への生徒参加率 80%以上	・地域防災訓練への参加率91% (前年は71.3%)	A	・1年生のみ参加。2年生は修学旅行のため不参加。
オ	広報活動の充実と教育環境の整備	・土曜公開授業の参加者数 計 1,600人以上	・参加者1,615人であった。	A	・ほぼ例年並みの参加者であった。
		・土曜公開授業外部評価満足度 80%以上	・90.0%が満足している。(特に大変満足が47.5%)	A	・満足度は例年並みであった。
		・土曜公開での校内美化への外部意見 批判 0件	・土曜公開アンケートの結果、校内美化関係の苦情、批判的な意見は0件。	A	・美化委員はもちろん、部活動のボランティアを呼びかけ活用できた。 ・アンケートでは校舎内の清掃が良くできていて素晴らしいとの意見もあった。
		・HP更新頻度 週5回以上	・毎日HPの記事を更新した。	A	・授業の様子や行事など学校の情報を多く発信することができた。
		・事務室窓口へのクレーム件数 0件	・事務室窓口へのクレーム0件	A	・事務室内で情報交換をより一層図り、円滑な窓口対応に努める。
		・月1回の安全点検の実施	・月1回の安全点検以外にも技能員による日々の業務の中で見回りを実施した。	A	・教職員との情報共有をより一層図り、安全で安心な施設設備の維持に努める。
		・「信頼できる先生がいる」と答える生徒 80%以上	・「信頼できる先生がいる」と答える生徒は81%であった。学年進行で数値が上昇している。	A	・生徒一人ひとりを大切にされた指導を丁寧に行うことができた
		・学年主任連絡会の実施 3回以上	・月1回のペースで実施した。全10回実施した。	A	・単純な連絡だけではなく、具体的な問題点等についての話し合いが行われた。